

5月17日、第8回支える会は、戸田ひさよし門真市議に「革命左翼議員はかく語る」とタイトルをつけたレジメにそって、講演をして頂きました。以下、その記録です。

私と山田さんの出会いは、昨年12・23の反天皇制の集会でした。そこで、山田さんの『日の丸』『君が代』問題に関する考察」というパンフをいただいて、それを後でじっくり読んでみたら、「いや、これはすごい」、『日の丸』『君が代』反対をしている人のパンフで、ここまで掘り下げて書いてるものは、そうそうあるもんじゃあない！これはすごい人だなあと思ったんですよ。

そして、今年の3・10反原発大阪2万人集会でも出会って、そういう、つながりで、今日、この「山田さんを支える会」に呼ばれて、やって来ました。

私の立場と考え

私は、いわゆる「市民派議員」ではありません。世界社会主義革命を目指す革命党「革命21」の議員であり、「革命左翼議員」ということになります。

「議会制民主主義を愛してはいないが、深め発展させる立場」で、「ドブ板選挙から人民蜂起に至る、革命のために必要なあらゆるものの一環として議員活動をやる」、というのが私のスタンスです。

議員という公務員である以上は、憲法は順守しないといけません。

「革命21」の機関誌は、お手元にある「コモンズ」というやつです。「革命21」という党は、連帯ユニオン・関西生コン支部（活動家）が主力部隊です。関西の他にも活動家があります。

大戦略としては、世界社会主義革命であり、国政選挙としては反自民。反民主・反公明・反維新・反みんな。それ以外の社民・共産党・生活・新社会・反原発派等々を支援する。市議会選挙等では革新派を支援する。自治体の首長選挙においては、是々非々、その人物本位という形で支援するというのが、僕の立場です。門真市では、維新粉砕のために、自民党穏健派の今の市長を支持している。

私の活動の経歴は

1999年、門真市議に当選。石原慎太郎が東京都知事になった年と同じ年。

『日の丸』『君が代』強制の問題のことを言いますと、1999年に国旗国歌法が出てきましたね。この年、豊中の第8中で、卒業生が日本刀をもって、学校に押しかけて、校長先生を切りつけた事件がありました。「『日の丸』を掲げてないからけしからん」と言って。国旗国歌法をつくったら、こんなことが進むんだと思い、1999年初当選直後の6月議会でとりあげたんです。

だけどこの豊中8中事件は、君が代強制反対の人達でも、なぜか誰も覚えていない。

最初（1期目）は、最下位当選。それから2003年（2期目）はぶっちぎりのトップ当選。これは、門真・守口市の合併断固粉砕という強烈な運動をしていったことと、1期目に入って早々、問責決議・辞職勧告決議・出席停止処分、怪文書も出て「懲罰・問責・辞職勧告の戸田議員です」と自分でも言って、裁判闘争もがanganやって、ぬるま湯議会に強烈な喝を入れて、新聞にもテレビにも取り上げられて、宮崎学さんとか、当時、生きてた黒田清さんとかの応援も受けたりして、非常に目立った。合併阻止の最先頭に立って、市町村合併のさなかだったこともあ

って、ぶっちぎりトップ当選。

私は、左翼であり、革命派であると、ずうっと言っている。しかし、きわめて保守的な、公明党の巣窟の、大都市部の中の貧困地域である門真市において、ぶっちぎりトップ当選した。これは、非常に珍しい。

私は、連帯ユニオン・生コン支部の近畿地本の委員長を引き受けていたこともあって、反弹圧の先頭で情報発信もしていたので、権力にとっては目障りだったんでしょうね。2005年に、連帯ユニオン・生コン支部弾圧の一環として、政治資金規正法違反という口実で、自分とこの組合員からカンパをもらったことが、組織的な違法なカンパだとしてじつけられて、弾圧を受けた。

12月議会開催直前の木曜日に逮捕されて、週明け月曜日の初日本会議に、自公民与党はもとより共産党も一緒になって全部の議員が、辞職勧告決議をしたんです。それに対して、獄中から、議員全員に公開質問状を出してやったんですが、共産党議員も含めて誰ひとり応えなかった。

この12年間の活動について…議員は市民の護民官たるべし

守口、門真の合併は楽勝と、二つの市の市長と圧倒的多数の議員たち、自民党・商工会議所等の既存団体全部が、合併推進で、楽勝でいけると思っていたのに、ひっくりかえってしまったのだから。「私がいなかったら2005年に門真市は絶対無くなっていた！」。・・・このことは強烈な誇りですね。

議員というのは、個人で金をつぎ込もうが、努力しようが、何しようが、有権者が一定水準、自分の名前を書いてくれないと議員にはなれないわけです。組織の面倒をみていくのが得意ではないので、地元後援会は全くないけども、「私は極左です。」とはっきり言って、なおかつ、トップ当選。

これは、変わり者でズバズバものを言う、こういう議員がおってくれないと困る、おった方がいい、だから戸田に投票する、という市民が、3千人前後いるということです。私と政治思想が同じという人は、門真市で2～3人もいないでしょうがね。

大人の半分くらいが将棋のルールを知っている程には、プロ野球の話題を知っている程には、議会の仕組み、勢力図を知っておいてほしい。資料の2ページ目に、顔写真がいっぱい並んでますね。これは門真市の議員の勢力図です。

ところで、皆さんは、高槻市の議員たちの勢力関係図をほとんど知らないんじゃないかと思います。それでは、もったいない。

生活の身近なところで、いろんなことが決まっていく自治体のことは、TV、新聞にまず出ない。どことどこが、どういう関係なのか、会派の名前も、共産党と公明党以外は、そのまま名乗っているとは限らないので、例えば、この人は、『日の丸』『君が代』問題についてはどうなんだ、積極的なのか中立的、反動的なのか、ということを、みんなで知っておくことは、是非やってほしいなあと思います。

議員が『君が代』で不起立するということは、絶対大事

それで、門真市議としての『日の丸』『君が代』強制反対の闘いについて言いますと、門真市は、公明党が多くて、創価学会っていうのは聖教新聞、公明新聞を取っていて、それ以外に新聞をとるとすれば、一番安い産経新聞をとっている。そして公明党議員は、ものすごい反動の産経新聞の主張をそのまま真似て、『日の丸』『君が代』に従わないのはけしからんと、自民党と一緒になって議会で言っている。

それを、私は、誰がどんなことを言っているのかを、ホームページや通信で書いてきた。ホームページで、どんどんオープンにしていくと、ひどいやり方は少なくなってきた。オープンにすることで、少しは抑制できると思います。

それと、議員というのは、一番自由な職業です。

学校の先生なんか、どんどん締め付けられてる中で、議員ぐらいが『君が代』で不起立しないでどうするんだ！自民党・公明党の議員は、「来賓が起立してるのに教員が不起立してるのはけしからん」と議会で追及するけれど、私は逆に、「来賓の私が起立を求められて不愉快になるような式次第にするな」と議会で言う。。

私は議員として、起立強制への反対者がちゃんとおることを見せるために、式典の来賓席では、一番見える前の席に座るようにしている。市民派議員でも、「式典の雰囲気乱してはいけない」と同調し、起立する議員があっちこちで増えている。社民党でも共産党でもそうしている議員がいる。それは、とんでもない話。議員が不起立をするということは、絶対大事。

今は、式が始まって、そのまま立っている。座りにくい仕組みでやるようになった。だからこそ、不起立が見えるように、大いにやるべきですね。

さらに、議員というのは、地域のオピニオンリーダの一員なんです。今、新聞・テレビで出鱈目、嘘ばかり言って、それをすり込まれている中で、「それは違うぞ！」と、身近でものを言う存在はすごく大事で、街頭で生の声を伝えたり、そういうオピニオンリーダーとして、議員の存在がある。

それから、私は議会の議事録というのは、「石に刻む歴史」だと思っています。だから、議会でどういうことを言うのか、どう対応するのか、歴史に向かって私の足跡を残すというふうに考えています。

まあ、実際に門真市の議事録を調べるという物好きな人はいないでしょうけれども、自分自身が歴史に向かい合うものとして恥ずかしくない言動をしなくちゃいけないと強烈に思っています。その意識が、市民派と称する人たちに、だんだん薄くなってきていて、残念なところですけどね。

2008 年の門真 3 中卒業式事件

これは、「産経新聞による扇動報道事件」なんです。生徒が『君が代』で、全員座るというのは、時々ある。あって当たり前じゃないですか。

ところが、たまたま、生徒が一人だけ立っていて、それ以外の全員が座ったんですが、それは教師が吹き込んだからだ、というトーンで報道された。卒業式は、平穩に終わっているのに、20日後に、産経新聞が、わあっと騒ぎ立て、朝刊に載せた。

産経に出たら、右翼も動かんわけにいかん。右翼が来ると、大騒ぎになった。嫌がらせの電話や無言電話があって、私がその時すぐ言ったのは、「業務を妨害するとか、無言・嫌がらせ電話で、名前も名乗らない奴は、業務妨害だから、ちゃんと記録をとれ、何件、どんなことがあったのか、全部記録に残せ」と。

だが、教育委員会は、ろくに記録をとらなかった。右翼の車が、1台か2台来た。それで、教育委員会も市も、無難に無難にとやってきたので、もうビビって大騒ぎになった。

私は、そんなのけしからんと、身体を張って守った。その時、座った先生らは9人。共産党やその系列団体は何をしたかというところ、日ごろ、『君が代』反対だ、押し付け反対だと言ってるくせに、右翼が1台か2台来ただけでビビってしまって、全く何も闘わないだけでなく、共産党系の教組の門真の委員長も不当処分されてるのに、教員への処分があったことも、産経報道事件があ

ったということすら、全部隠した。これは、恐るべきことですよ。

権力の弾圧、ザイトクとの闘い

2005年の不当逮捕事件の裁判が、最高裁の上告棄却で有罪確定されて、2009年3月末に議員失職＝クビ切りされた。権力が目を付けたら、政治資金規正法とかで、パクろうと思えば、なんでもできる。自動的に、議員は公民権停止。それで議員の地位も職も失う。

こんな目障りなやつ、議会から追い出せ、と思ったら、権力が弾圧して、公民権停止して、ということは実は簡単なんですよ。これは恐ろしい話です。

まっ、そんなんでやられて、その間、在特会ら、カタカナで「ザイトク」と呼んでいる輩が、朝鮮学校を襲撃したり、徳島県教組が朝鮮学校を支援したとか言いがかりをつけて事務所を襲撃したり。もう弱い人、女性、子供まで平気で攻撃する。

こんな奴らに断固として反対して、ガンガンとネットで批判し、反対デモにも参加してきた。2010年に、大阪駅に「従軍慰安婦」問題解決を求める「水曜デモ宣伝」を支援しに行った。そして、帰り道、歩いていたら、200人くらいの警官が、カメラを構えて残っている。ザイトクの奴らもぶらぶら残っている。

その中を私が、天下の往来である大阪駅前の歩道橋を通ったら、ザイトクの連中が、「こらっ！戸田！」と、興奮したサルみたいに、襲いかかってきて、警官が中に入ったけれど、メガネをはずされて盗られた。これは刑事告訴した。

現職の議員では、ザイトクとぎゃんぎゃん闘う議員はいない。だから、僕を憎悪してるんだろうけれども、断固として闘ってきて、2011年4月末の市議選で議員復活しました。

ところが、当選1ヶ月後の5月30日に、兵庫県警が、私のところにガサ入れして、パソコン内のデータを全部持っていった。「名誉毀損罪」容疑の捜査だと言う。いったいどういう事かという、何と、前年2010年にザイトクのと

んでもない“うそつき女”「おつる」こと中曽千鶴子が、厚かましくも川西市議選に出て、当然、落ちたけれども、「なんであんなうそつきザイトクが出るんだ」と、私が自分の掲示板で批判したことが名誉棄損だと、中曽がとんでもない言いがかり告訴をして、公安警察がそれを利用したという恐ろしい話。

自分のホームページ掲示板で、市議選出馬の「公人」を事実に基づいて批判したことを「犯罪」だと考えて、警察に全ての個人データ押収可能の礼状を出す裁判官は、それ以上にひどい。この前も、モジモジ先生こと、下地先生が、放射能瓦礫問題で、大学の研究室がガサ入れされた、あの人もパソコンを丸ごとパクられた。これが今の裁判所、警察のひどいところですね。

門真市では、差別をあおる人権侵害のザイトクは許さない

2011年9月市議会では、ザイトクのような悪質な差別罵倒する奴らは、人権侵害だと、門真でそんなことがあったら、毅然たる態度表明を行政としてすると、市当局にはっきり答弁させた。これは、全国の行政で初めての事です。今でも「門真市だけ」というの1残念ですが。

トイレで部落差別の落書きがあったら、市で啓発するでしょう。学校で生徒が、差別したり、誰かをいじめていたら、とんでもないと、教育するでしょう。なのに、ザイトクの奴らがヘイトスピーチやって、公衆の面前で「殺せ」の、「クソだ」のと言うことが、なんで許されるのだということですよ。

行政に対しては、これは人権侵害であると言っていく。いっとき、ザイトクが門真市に押しか

けてきたり、私の所にも嫌がらせに来たけれども、毅然たる態度をバシバシ取ることで撃退して、もう来なくなった。この3月の議会では、ザイトクの輩に対して、施設を使わせない、もし、ザイトクだと判ったら施設使用を取り消すと答弁させました。

「議会答弁」は行政の正式な施策表明ですから、非常に重みがあります。

大阪市内で従軍慰安婦問題をやろうとしたら、隣の部屋を借りて、それを妨害しようとしたことが現にあるんですが、そんなもんに貸すのがおかしい。ザイトクには道路も使わせないとい姿勢を行政が示せば、警察だって、甘々にはできないはずだ。議員もやるし、一市民としてもやるべき。門真市のやり方を真似てやればいいこと。

市の職員の方は、ザイトクみたいな、あんなひどい奴らが世の中にいるというのは、信じられませんからね。だから、ザイトクの奴らが自慢げにやっていることを、市の職員に、これを見ろと、録画したものを見せて、はっきり知らしめて、市としての対策を取らせる。反差別の人権行政として当たり前のことだし、住民の安全と尊厳を守る責務があるんですから。ちゃんとやらせるべき。

高槻市の議員にも是非お願いしたい。簡単なことですよ。こういうひな形が門真市にありますよ、と実例を示せば、行政は、横並びが好きだからやりますよ。これを、いくつか重ねて行けば、あいつらの動きを封じることができる。

関電の社長がいる高槻の上牧で、反原発行動をしていた人の妨害にザイトクが来た時、警察が反原発行動している人たちの方を向いたと聞いて、とんでもないことだと思いましたよ。

「竹島・尖閣諸島は、日本の領土だ」という意見書には、断固反対

地方議会で、領土排外主義との闘いも大事です。2012年の6月、9月議会に、竹島・尖閣諸島は日本の領土で、韓国や中国がけしからんという意見書を採択しようとなったが、私は、こういう戦争扇動に等しい領土排外主義の意見書には、断固反対した。

領土問題というのは、反対すると非国民扱いされるから、びびっちゃって、議員はほとんど反対しない。議会で領土問題を言って、またザイトクに知られたら怖いと、あまり発言せんとこ、という意識になる。けども、それが怖いんだったら議員になるな、と私は言いたい。

議員は住民の護民官たるべし！議員って、高い報酬があって行政に意見を言う権限を与えられているんだから、住民のために力を尽くすのが当然です。いざとなって、右翼が来たら怖いから何も言いません、というような“根性なし”なら、議員になるなよと言いたい。市民派議員と称している人も、ビビリが増えている。

よくこういう話をするんですよ。ドイツの間抜けな牧師の話。これは、最初弾圧を受けたのは、共産主義者だった、次はなんだかんだといって、最後にキリスト者である私が立ち上がろうとしたが、もうその時は誰もいなかったと。

これはドイツの良心的な牧師さんの話と皆さんは思っているでしょう。でも、違うぞと！と僕は言っている。良心的になったのは、反省したからであって、それはヒットラー政権が倒れて、安心できるようになってから反省したのだと。ナチスの時代においては、自分の保身のために、どんなにひどいことがあっても“だんまり”を押し通してきたという保身主義の間抜けな牧師なんだと。

今の日本の状況の中で、あなた方は、その間抜けな牧師になりかけているぞと、口をすっぱくして言っていますが、反応がよくない。市民派と称する議員仲間の中では煙たがられる。右翼が来たら怖い人は、議員になるべきじゃない。

ぜひ議員を活用してほしい

それから、議員とはタダで使える専門職。弁護士だったら、「30分相談して5千円」とかでしよう。議員というのは、その点、ただで使えるんですよ。使うべきなのです。で、議員は何かの専門家であるとは限らない。でも、専門家を知っていたり、渡りをつけたり、行政に聴いたりできるわけで、行政とトラブルになった時に、その交通整理役として役立つと、私は思っている。

みなさんも、議員を知ると同時に、議員を巻き込む。市民が動いたら、議員も良心派であれば、大概、動く。何か、しますよ。市民が言わなかったら、それをいいことに、議員は黙っているだけです。ぜひ議員を活用してほしい。

門真市行政に「先進施策」を数々もたらした戸田の行政追求闘争

たとえば、門真市では審議会、住民説明会など全部の会議の議事録を、2週間をメドにホームページにアップすることを施策として、私が確定させた。

それから、民間委託で業者を募集する時は、各業者に就業規則や給料の具体的な金額を出させる、これを義務づけている。多くの市では、そこまでやっていないが、それを出さない業者はいらん、レベルの高い業者を選ぶべきだ、と。

課長クラス以上は、HPにも名前をあげて、責任をはっきりさせる。門真市の職員は、何かあると、戸田にHPに出される、そして、HPは永久に残る。でも、あなたが公務員として住民に影響を及ぼす以上、仕方ないと言っている。

共産党なんか、それは組織の問題だから、個人を追及してもダメなんだと言うけど、それは違う。組織の問題を追及するために、個人を一人でも二人でも、次から次に追及すれば、そのうち、「そんなことやりたくない」となるんだ。

でも、いいことしたら誉めてあげる。役所の人には、誉められることも嫌がる。みんな一列で無難にいきたいんです。でも、いいことしたら誉める。ろくでもないことしたら、パチッと批判する、そのくり返しが大事だと思います。

これも、全国ではやってないと思うけど、行政の失敗と反省の事例集を作って、HPで公開する。たとえば、2000年の衆院選で、自民党と自由党が未だあった時、たまたま、開票の立会人に行ったら、「自民党の百票の束がこれです。」って回って来た。見てみたら、そのうち1束は丸々自由党だった！ほかに自民党の100票束の中に民主党12〜3票入っていた。とんでもない事です。そのほか、赤の他人の税金を付けられたり、考えられないようなことが、時々あるんですよ。でも、そういう事件が継承されない。もう3年たったら、誰も知らない。これではいかんと、ほとんど失敗例ですが、事例集を出させて蓄積させる。全職員に、自分の部署でも他の部署でも、今までどんなミスがあったのか、これを使って毎年研修して反省を継承させる。こういうことをやらせたんです。

それから、門真市の広報は、店舗も工場も、全戸配布が義務なんだとはっきりさせています。その配布をシルバー人材センターに委託する。地域の高齢者の有能な部隊ができるってことです。

脱原発は、脱関電。門真市では、関電でないPPS電力に切りかえた

また、特筆すべきは、門真市では私の提起を受けて、関電でないPPS電力に昨年切り替えた。私も行政も今年3月に調べてびっくりしたけど、福島原発事故の後でPPS導入したのは、大

阪府下で門真市だけだったんですよ。他の市は、何してんだ！

「脱原発は脱関電」だ。関電の影響力を極力削ぐ。関電は、どれだけ厚かましいかと言うと、「説明責任が命」の行政に対して、あろうことか守秘義務を課して、契約内容を守秘だと言う。契約したことも、契約が終わったことも守秘だと、こんなことを全国どこでも言っている。それを門真市で突破するために、私が関電との長期契約について情報公開を求め、門真市が開示した。関電が反対したけど、門真市は、そんなの守秘に当たらないと押し切った。これ、全国初の快挙です。これは高槻市でもどこでも、議員でなくても市民でもできる事。

経済的利益はないですよ。でも、電力会社の地域支配力を崩すってことでは、とっても大事なことですよ。これを2011年にやって、どんどん宣伝してるんだけど、誰もやってくれてない。ぜひ、やってほしい。

こうした成果をもたらす戸田流の議会質問術を資料に載せています。議会での質問ってのは、「分からないことを教えて下さい」じゃないんです。行政に対する改善追求闘争なんです。バツと質問をぶつけて、市がオタオタとする、これは、絵になるけども、地方議会では国会みたいにテレビに映るわけじゃない。行政を実際に改善するには、当局者とうち合わせをして良い答弁原稿を作らせる、脅しすかし、相手の分断などをやって、一步でも二歩でも答弁内容を前進させること。私はそういうやり方をしています。

市民と議員との関係は、如何にあるべきか？

「王子様とお姫様が結婚しました。めでたし、めでたし。」で終わるおとぎ話があります。でも、実際には、結婚してからの大事なスタートなんです。

議員もそうで、当選してからが大事。でも、当選したら、議員はたった独りぼっちで、判断しなくちゃいけない。応援していた市民は、その現場を見ることは、できない。だから、どんだけ、断固たる姿勢をとっていけるかが大事。

もう一つは、市民がよかれと思って応援したのに、その人は、当選したら、途中で変質しちゃって、全然、逆の立場になったということもある。

国会で言えば、川田龍平。いろんな人の応援があって、国会議員になった。ある程度したら、『みんなの党』みたいなアメリカの財界の手先の党に、ころっと鞍替えした。でも、誰も、止められない。

茨木市に、桂むつ子という人がいます。「市民派の若き希望の星」と呼ばれていて、僕もすごく立派な人だと思っていたし、「連帯労組」の労働者もいっぱい応援していたのに、2005年1月に3期め当選してからは、同時期の連帯労組への連続弾圧にビビった事もあるでしょう、もう『連帯』とか左派から応援してもらわんでもいいわ、とばかりに一方的に絶縁していった。そのうちに自公民派市長の出す議案に全て賛成の「完全与党」になった。それでも「市民派」を名乗り続ける鉄面皮さ！私は「御用市民派」と呼んでます。

彼女彼らは、公開の論議をしない。いわゆる市民派議員のポリシーは、「説明責任をはっきりさせよう、今までの政治家は密室で決めてきが、それじゃダメだ、市民に通じる論理でオープンにします」ということのはずなのに、「市民派議員」のかかりの人達が、自分自身が問われる問題を「だんまり」して、ごまかそうとする。こんなの「市民派ムウ政治」じゃないか、と私は批判してます。

議員の定数減…自らの代弁者を減らして、どこがいの？

「議員はボランティアであるべきだ」とか、「議員の報酬は高い」とか言う人がいます。その報酬をどう使ってるかという問題。報酬＋政務調査費というのは、自分の生活費と活動費を合わせたものなんです。店を経営していたら、店にかかる経費、それと純益がありますね。議員の報酬というのは、それら全てが合わさったもの。まじめにやればやるほど、どんどん金がいります。

日本の地方議員の報酬は、世界で最も高いんだとインターネットでワーワー言ってた。私は、全部、調べたんだ。門真市は13万人規模で、議員は22人いる。イギリスでは、13万人規模で地方議員は660人いる！フランスでは、1100人いる！それでは、報酬のあり方も違うでしょう。

それと、今の政治資金規正法では、議員が誰かのカンパで生活したら違法なんです。政党だったらいけるんだけど、私みたいに無所属だと、人から給料もらって生活の足しにしたら、違法なんです。こんな状況になってるのに、議員の報酬を下げろ、下げろとは、ふざけんなと言いたい。

また、ほとんど人は、議員を「コメンテーター」と間違えている。日当制度にすべきだとか言う。行政から出される分だけでも膨大な資料を研究して議会に臨んでいる事を全然考えない。今の自治体議員の報酬では、まじめに活動すればする程、生活は大変ですよ。報酬を下げれば下げるほど、金持ちしか議員になれない。バックがある人しか議員になれない、こうなりますよ。多くの国民が、だまされて、自らのクビをしめるようなことを正しいと思わされている。議員の定数減なんかすべきではない。官僚と闘う自らの代弁者を減らして、自分らの武器を減らして、どこが いいの？

私から見て、高槻市はどんなところか？

高槻市は、北摂の文化程度が高いところですよ。上品なところですよ。

けども、行政のレベルは低いですよ。暴力団利権集団とドロドロの関係が、いっぱい残っている。私はびっくりしました。ある暴力団関係企業が、市の元請けの下請けとか二次下請けに無理やり入るんですよ。そうすると、市の直接の管理にならない。暴力団関係の下請けの方が実は元請の大企業より強い。これが利益を上げるために、違法になることをいっぱいしている。暴力団が絡んでいることを、行政も知っている。

『連帯』労組が争議闘争の一環で「この企業の違法行為をとりしまれ。」と高槻市に行ったら、役所の担当の人間が、「怖いから行きたくない。」と言った。これ、5～6年前か、7～8年前の話です。議員が、こういう分野をチェックしてないんですよ。だからこんな行政が続いてきた。『連帯』労組の方は、建築、運送、専門家がいっぱいそろっているので、おかしいところがあったら、全部、正していくんですよ。それをオープンにしていく。役所のでたらめなやり方にしても、悪徳企業にしても、名前を全部出す。

門真では、公明党が強くて自民党の市長ですが、脱原発で PPS 電力を契約したのに、何で、高槻市で出来ないんですか？

門真市ではザイトクはダメですよって政策を出しているのに、何で、高槻市で出来ないんですか？それは、議員たちが手を抜いているからですよ。

もっと地元で、橋下・維新の会をたたく運動を！

維新の会・橋下はけしからん、反対だと言っている人も、自分の地元で誰が維新の会の議員だと知らない人が多い。

橋下という嘘つき、アジテーターがおるけれども、その橋下を支持してる市会議員や府会議員がおるから、成り立ってるんですよ。橋下が何であれだけ大きな顔をしているかという、2011年の府議選、市議選で大勝利したからですよ。あの時、もっと地元で維新を叩く運動をして、維新の議員をあそこまで増やさなかったら、橋下があんなに天狗になることもなかった。

だから、維新を各地で撃沈しようと、「門真で維新を撃沈する市民の会」を結成しました。維新の会は、最も凶悪、利権とペテン、極悪右翼反動政治。5月31日に維新撃沈の市民集会をやるので、高槻からもぜひ来てほしいし、高槻でもやってほしい。第2、第3の「維新を撃沈する市民の会」を呼びかけます。

7月の参議院選では、山シロ博治さんの応援を！

「沖縄の闘う良心」といえる人です。社民党の人です。沖縄の自治労の人で、今、オスプレイ反対の全国キャラバンをしています。実は、社民党本部は全然ダメで、山シロさんに力をそいでないんです。沖縄で10万票、全国で15万票、最低、必要なんです。でも、山シロさんは全国で知名度がない。

けれども、逆に考えれば、全国、どこにおっても、山シロと書けば通る。社民党と書けば、又市の票に行ってしまう。山シロと書いてほしい。沖縄の声を生かすか潰すかの瀬戸際です。山シロさんの応援を全力でお願いしたい。

また、沖縄のオスプレイ反対で「沖縄意見広告」を出そうとしてます。もう3回やりましたが、かなりの反響をよんでいます。でも、今回の4回目は、まだ数が少ない。一口1000円です。ぜひ、申し込んでいただきたい。

最後に・・・

私が『緑の党』をなぜ支持しないのかというと、論議を嫌がる、「市民派ムラ政治」をする人達が主流だからです。それから、警察の弾圧があった時に、たちまちにクシュンとなってしまう。脱原発で弾圧があったら、そら、みんな反対するでしょうけども、権力の弾圧は、それに限らんわけですよ。政治資金規正法だとか、いろんな口実を作って弾圧するんですよ。彼ら彼女らの多くは、そういう権力の弾圧に対して闘うという意識を全く持ってない。

日本の場合は、何かまともな社会改革運動をすれば、マスコミといっしょになって、必ず権力弾圧を受ける。それに対して、きちんと闘う気構えを持っている人でなかったら、そういう団体でなかったら、役に立たない。

そして「脱原発」と言ったって、どれだけ、有効な活動をしてんの？もう一つは、ザイトクなんか来ると、彼ら彼女らは、間違いなく、ビビってちぢこまりますから。本当にひどい。自分らの仲間うちの市民が、ひどい目にあっているのに、よく知らん顔できるなあと思ってしまう。それでは、期待ができない。全員がそうではないけれど、主流的に動かしている人たちは、そうだと判断しています。だから、『緑の党』を支援するのは、ムダなことになると思います。

もう一つ、『チホー議会の闇の奥』という本の紹介をします。これは、天才漫画家、青木雄二さん、『ナニワの金融王』とか描いた人です、もう亡くなりましたが、親しくしていた経過があって、僕が懲罰問責決議とかバッシングとか、いろいろあった時に、反撃するのを手伝ってあげようということで、当時の門真の市議会議員の全員の似顔絵を描いてくれて、対談までして、青木ファンの人からみれば、垂涎の的っていう本でした。ぜひ読んでみて下さい。ということで、私の話

は終わります。